

# ふくしまの活力を支える社会資本の整備



様式2

## 原町川俣線八木沢工区の取り組み

相双建設事務所道路課  
主査 木幡智弘

施工場所: 南相馬市原町区大原地内

### 1. はじめに

県道原町川俣線は、南相馬市原町区(国道6号)を起点とし、伊達郡川俣町(国道349号)を終点とする41.1kmの地域連携道路で、緊急輸送路(2次確保路線)にも指定されている路線です。また、原子力発電所事故により、避難指示が発出された地域周辺について、その復興と避難住民の帰還を加速させるための「ふくしま復興再生道路」8路線のひとつにも位置づけられています。

八木沢工区は、急勾配や急カーブが連続し、特に冬期間においては路面凍結によるスリップ事故が多発しており、異常気象時には通行止めが生じるなどで交通に支障を来しているため、平成23年度からこれらを解消するよう事業に着手しています。

事業の完了により、沿道市町村間の生活・産業・医療を支え、また、冬期間における円滑な交通確保、広域的な交流連携を促すなどの効果を期待しています。

### 2. 経緯

- 昭和45～52年度：一次改築延長4.8km  
(昭和52年12月全線供用開始)
- 平成17～18年度：「原町川俣線道路整備検討委員会」を計6回開催
- 平成19～22年度：気象調査、地質調査、道路概略設計、道路予備設計
- 平成23年度：**事業着手**、路線測量
- 平成24年度：道路概略設計、**ルート見直し**、地質調査、道路詳細設計、トンネル設計、改良工事着手
- 平成25年度：トンネル工事着手
- 平成29年度：トンネル工事完了(予定)
- 平成30年代の早い時期に全線開通予定

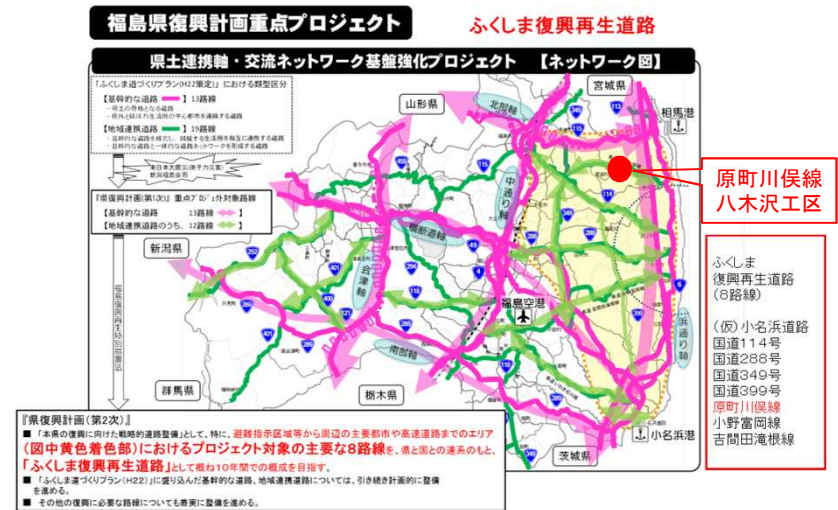


図1 福島県復興計画重点プロジェクト

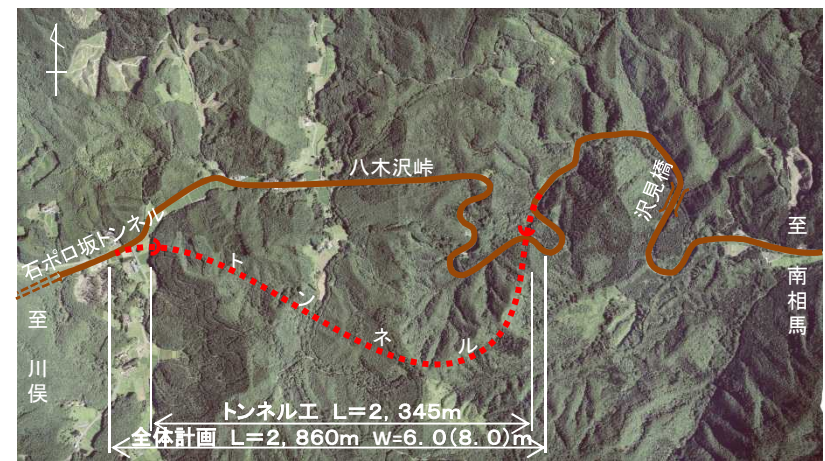


図2 八木沢工区ルート図

### 3. 事業概要

計画延長：2,860m（トンネル部2,345m）  
道路規格：3種3級  
道路幅員：6.0（8.0）m（トンネル部6.0（7.0）m）  
設計速度：50km/h  
最小曲線半径：300m  
最大縦断勾配：4.5%（トンネル部4.5%）

### 4. 進捗状況・創意工夫

#### ➤進捗状況

平成26年3月25日に着工式を行い、トンネル掘削が延長2,345mのうち751m（1月23日現在）掘削完了しています。

#### ➤創意工夫

当現場においては、施工業者の技術提案によりずり搬出にベルトコンベアを利用したことで時間短縮が図れ、さらにはダンプトラックを使用しないことにより坑内の排出ガス及び粉塵の巻上げを抑制や接触事故のリスク減少など、良好な作業環境で工事を行っています。

また、トンネル現場は進捗状況が道路利用者からわからないため、現場の『見える化』を実施しており、入口に進捗を示す看板を設置しております。さらには、工事見学者に概要が分かりやすいように工事概要看板を設置しています。

### 5. おわりに

東日本大震災以降、避難者や除染作業及び復興作業により交通量が増大しており、事故も多発しております。

道路利用者が安全で安心して通行出来るよう、また、相双地方の復興が一層進むよう工程管理を行いながら無事故で1日も早い供用を目指します。



図3 ベルトコンベア設置状況



図4 トンネル進捗掲示板



図5 工事概要看板